

間違いに対する認識

贾 娜 娜
JIA NA NA

皆さんは「間違い」をすることを恐れてはいませんか？普通は敏感になって「間違い」をすることを避けようとしませんが、私は自分の「間違い」に直面できないことが本当の「間違い」だと思います。「間違い」は反省して直すことが出来たら成功の鍵となるのです。私は日本に来てようやく「間違い」の本当の意味を理解出来ました。

私は幸運にも大都会である東京にやってきました。東京の景色はとても綺麗で、空が高く青く、街風景も美しいもので、とても癒されます。東京は私の第二の故郷だと思っています。来日して、サンケイワークスの一員になれたこと、嬉しく思っています。サンケイワークスでの仕事はフィルムで図書をコーティングする作業です。その中で私は、コーティングに失敗した本の修正作業を任せられています。会社の方は親切で、日本語をほとんどしゃべれなかった私の面倒をよく見てくれます。最初はゆっくりしかできなかった仕事も、十か月が過ぎた今ではペースも上げられるようになりましたが、同時に「間違い」をする回数も多くなっていました。

私にとって忘れられないのは、入社して一か月ほどで、まだ完全に仕事に慣れていない頃にしてしまった「間違い」です。現場担任はとても親切で、丁寧に仕事を教えてくれていました。しかし、修正作業をしている時に、教えてもらったことのない箇所にも修正の必要があることに

気付いた私は、現場担任に聞かずに自分勝手に自分のやり方で図書を修正してしまったのです。その結果、図書の重要な部分を破いてしまいました。その時私は、説明をしようと思いましたが、日本語が上手く話せないので出来ません。現場担任は本を見ても叱るのではなく私を励ましてくれましたが、困っていることは分かりました。なぜならその本はすぐに発送する予定だったからです。私はとても悔しい気持ちになりました。中国でも間違いをしたことはあります。しかし、言葉が通じるのですぐに言い訳してしまい、それで満足していました。反省しようとしていませんでした。

日本での「間違い」は私の心にしっかりと刻み込まれます。「間違い」について深く考えることも多くなりました。原因を考えて同じ「間違い」をしないように心掛けています。また、「間違い」をしてしまった私にいろいろな方法で説明してくれた日本人の親切さや、仕事に対する熱意、真面目な態度にも気付くことが出来ました。「間違い」をした反面、私はお金では買えない良い経験を得ました。

異国の地で、私は「間違い」という言葉の後ろに、どんな意味があるのかようやく理解出来ました。それは、努力、頑張る、そして成功につながるということ。雨が過ぎて太陽が出るように！